



はまこう通信

第 12 号
令和元年 9 月

株式会社浜工務店 電話：079-424-3730 F A X：079-424-3446

■■■この「はまこう通信」は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です■■■

◆令和元年 台風 15 号◆

こんにちは。株式会社浜工務店の濱です。はまこう通信第 12 号をお届けします。

昨年近畿地方を直撃した台風 21 号の記憶もまだ新しいなか、今年も大型の台風 15 号が関東地方を直撃し、甚大な被害が出ています。特に今回は何と言っても停電ですね。風・雨・水から身を守るという意識は皆さん非常に高いのではないのでしょうか？避難勧告も早々に出ますし、予報の精度も高いので、ある程度の準備、覚悟をもって台風を待ち構えることでしょう。しかし、この度は想定以上の威力だったようです。そのため、電柱が折れて倒れたり、倒木によって電線が切れたりし電気の送電が不可能となり大規模な停電が発生しました。電気が無い生活……私も想像できません。照明（あかり）はつかない、電化製品は使えない、お湯も出ない etc 生活のほぼすべてにおいて電気が無くてはどうしようないことが明らかになりました。小規模な停電ですと、こちらでは関西電力さんが早期対応し復旧するのですが、被害規模が大きすぎて、昼夜問わず懸命に作業しても埒が明かない状況だったと思います。東京電力の被害想定が過小評価で甘すぎるということで、メディアからたたかれています……そんなことより実際に作業している現場作業員さん、応援で全国から集まっている作業員さんの懸命に作業している姿をもっと注目してあげてほしいな～と同じ工事系の人間からすると強く思いました。この台風による電気ロスによって再注目されたのが太陽光発電や蓄電池です。太陽光発電によって最低限の電力確保できたことは、酷暑を乗り越えるためには大いに役に立ったと思います。まずはエアコン、そして冷蔵庫が動くことで冷たい飲み物、食料保存といったことが可能になりますもんね。避難所に指定されている公共施設（学校や公民館等）で電気確保できる施設がいくつあるのでしょうか？毎年毎年、日本のどこかで大きな災害おきている実態……地震、台風、ゲリラ豪雨……全てに備えて対処できないでしょうが、一つ一つの災害を教訓に、もし我が町に大きな災害が発生した場合、何ができるのか、個人としてまた建築業に携わる人間として……何度も同じこと書くようですが、しっかり考えて準備しておきたいものです。



◆発行者コラム◆

10 月、いよいよ増税ですね。10%！計算するのは簡単になりましたが……消費の冷え込みあるのかな～。とはいえ生活していくうえで住まいの設備の故障などは待ったなしだと思います。当社は国の施策であるキャッシュレス消費還元事業に登録はしました。キャッシュレス（カード決済）がお得！まだ、そんな説明しかできませんが、詳細わかりましたら発信させていただきます。

【発行者プロフィール】

株式会社浜工務店
専務取締役 濱 宏持（はま こうじ）
生年月日：昭和 49 年 2 月 25 日生まれ
出身地：兵庫県加古川市
趣味：サッカー、フットサル

経歴：市立浜の宮小学校→浜の宮中学校
→県立加古川西高校→摂南大学
(株)ハウスプロメイン→浜工務店
打ち込んできたもの：サッカー
家族構成：妻、息子二人
夢：ワールドカップ決勝戦を観戦

